

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

鹽野 めぐみ

19

第五幕 第2場

1522年3月21日

モンセラットのベネディクト会修道院

登場人物： 巡礼者 イニゴ・デ・ロヨラ
修道院の受付の修道士
修道院の聴罪司祭 ジャン・シャノン神父(ベネディクト会士)

【語り】 イニゴはこの世の騎士の装いから、神の騎士(巡礼者)にふさわしい粗末な服への衣替えをするための一連の儀式を考えつつモンセラットへの道を登り、修道院にたどり着き、案内を乞う。

門番の修道士: ようこそモンセラットへ。誰を呼びましょうか？

イニゴ: どなたか神父様にお会いできればうれしいです。告解を聞いていただき、いくつかの相談に乗っていただきたいのです。

門番の修道士: それでは聴罪司祭のシャノン師を呼びましょう。どうぞこちらでお待ちください。(応接間に通す。5分ほどして…)

シャノン師: よくいらっしゃいました。どちらから来られたのですか？

イニゴ: ギブスコアから来ました。騎士として現世的な虚栄に満ちた生活を送ってきましたが、これからは、この世の一切の榮譽を捨て、神の騎士として再出発したいのです。それで、先ず洗礼以来これまでに犯したすべての罪を赦していただくために、生涯の総告白をしたいと思えます。聴いていただけますか？

シャノン師: はい、喜んで。一人の子羊の回心を、神もお喜びになるでしょう。

イニゴ: 30年間にも及ぶ告白ですので、時間をかけて糾明し準備したいと思います。
3日ほど待っていただけますか？

シャノン師: いいですとも。心を込めてゆっくり準備してください。修道院の、巡礼者用の部屋にお泊りなさい。今日はちょうど聖ベネディクトの祝日なのでお客が多いと思いますが、一部屋ぐらい空いているでしょう。宿泊申込用紙がここにあります。

イニゴ: 神父様にだけは何でも打ち明けますが、そのほかには、私の決心や身分についてあまり知られたくないのです。
それで、匿名で泊めていただけませんか？

シャノン師: 分かりました。いいですよ。

イニゴ: ゆるしの秘跡(告解・告白)は、お告げの祝日(3月25日)の前日にお願いできますか？

シャノン師: あなたがゆっくり告白できるように、24日は午前でも、午後でも時間を空けておきましょう。

イニゴ: 有難うございます。あと二つお願いがあります。一つは、あそこにつないでいるラバですが、修道院で使って頂けないでしょうか？

シャノン師: あのラバですか？ 立派なラバではありませんか。
あなたがこれからも使ってはどうですか？
お見受けしたところ、あなたの足も少し不自由なようですし。

イニゴ: これからは、貧しい巡礼者として、徒歩で旅をしたいのです。

シャノン師: 分かりました。修道院長に話してみましよう。

イニゴ: もう一つ、あの「黒い聖母子像」の前にこの剣と短剣を掛けさせて頂けないでしょうか？ 新たな門出を前に、お告げの祝日の朝まで、立ったり膝まづいたりしながら、祈り明かしたいのです。

シャノン師: 良いでしょう。新たな騎士の叙任式ですね？

ガウラのアマデイスを思い出しますね。

ところで、ここにいい本があります。20年前にここで印刷したのですが、シスネロス大院長の『靈的生活のすすめ』です。これからのあなたの靈的歩みのためにも役に立つでしょう。

イニゴ: 有難うございます。読ませていただきます。

【黒い天使の合唱】

♪イニゴよイニゴ 狂ったか？ 告解したとて なんになる？
御前の無数の罪とがを 神が赦すと思うのか？

【白衣の天使の合唱】

♪ああイニゴ 長きにわたり ^な 汝が胸に 温めて来し
新たなる 捧げの道を 始むべき 時は来たれり

真剣な 告白通し なが罪は すべて赦され
いと清き 汝の捧げ 主なる神 嘉納し給わん。